

21世紀アジアのグローバル・ネットワーク構築と

静岡県の新たな役割

午後の部 ポストコロナの国際経済・国際情勢

新型コロナウイルスの感染拡大は世界経済の停滞をもたらした。特に、国際社会のグローバル化に対する反省が行われている。具体的にはグローバリゼーションのあり方とそれを支える体制づくりについて再考されなければならない。今回のシンポジウムは、このような問題意識を踏まえ、専門家を招いて、ポストコロナ危機の国際経済と国際情勢について展望する。

参加無料
要・事前申込

定員 **150**名

プログラム (敬称略・休憩あり)

開会あいさつ

講演1「変容する世界と日本の行方」

国際ジャーナリスト 蟹瀬誠一

**講演2「コロナ後の世界
—変わるものと変わらないもの」**

公益財団法人笹川平和財団 安全保障研究グループ
上席研究員 渡部恒雄

講演3「コロナが来りてガラパゴス？」

静岡県立大学国際関係学部 教授 小針進

研究発表「ポストコロナ危機の国際情勢と中国情勢」

静岡県立大学グローバル地域センター 特任教授 柯隆

パネルディスカッション・質疑応答

コーディネーター：国際ジャーナリスト 蟹瀬誠一

開催日時

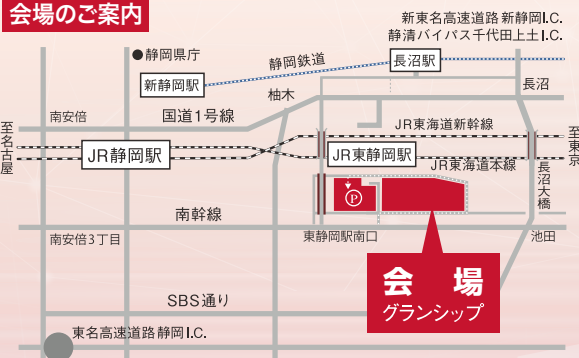
令和2年 **8月26日** 水

13:30~16:30 / 開場13:00

会場

静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ11階
会議ホール「風」 (静岡市駿河区東静岡2丁目3-1)

会場のご案内



アクセス

JRご利用の場合…静岡駅南口から車で15分または東静岡駅から徒歩5分
静岡鉄道ご利用の場合…長沼駅から徒歩12分

※お申込みの際には以下の事項をご確認ください

- ◆発熱又は風邪の症状がある方はご来場をお控えください。来場時に症状が見られた場合、入場をお断りする場合があります。(入館時受付にて検温に御協力ください。)
- ◆感染が発生した場合に備え、参加される方の氏名、連絡先を確認しております。また、感染が発生した場合、保健所等の公的機関に連絡先を提供する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、会場参加の形式は取りやめ、オンライン配信のみの開催とする場合があります。ご来場の際は必ずホームページで最新情報をご確認ください。
- ◆当シンポジウムは終日のプログラム(午前の部、午後の部)をオンライン配信いたします。オンライン配信を希望される方は裏面「オンライン配信申込の御案内」の申込方法により別途お申込みください。

オンライン
配信

午前の部 アジアのグローバル・ネットワークと地域間交流 (10:00~12:30)

グローバル地域センターが進めているプロジェクト「21世紀アジアのグローバル・ネットワーク構築と静岡県の新たな役割」では、アジアのヒト・モノ・カネ・情報などの動きが広くグローバル・ネットワークを構築していることに注目すると同時に、それらが多様な地域間交流によって支えられ、また新たな地域間交流を生み出していることを検討してきた。経済・政治にとどまらず歴史、社会、文化におよぶアジアの地域間交流は、そこにグローバルな要素を取り込みながら新たな展開を示しつつある。今回のシンポジウムでは、当研究の成果を県民の皆様と共有し、アジアのグローバル・ネットワークと地域間交流を長期の視野で見ながら、静岡県のこれからの役割を考える。

プログラム (敬称略)

開会あいさつ 静岡県知事 川勝平太

趣旨説明「アジアのグローバル・ネットワークと地域間交流」

静岡県立大学グローバル地域センター長 濱下武志

講演「温州と静岡—在日温州人のライフストーリーを中心に」

寧波大学外国語学院日本語学科 講師 鄭楽静

研究発表1「柑橘貿易からみたアジア太平洋圏—静岡県も事例にして」

静岡文化芸術大学文化政策学部 教授 四方田雅史

研究発表2「中華世界との共存共栄：日本、そして静岡への眼差し」

静岡県立大学国際関係学部 准教授 奈倉京子

研究発表3「戦前期における清水港の貿易とアジア」

静岡県立大学グローバル地域センター 特任助教 粟倉大輔

研究発表4「イスラーム圏を中心とする社会経済交流枠組みとアジア」

静岡県立大学グローバル地域センター 副センター長 富沢壽勇

まとめと提言 静岡県立大学グローバル地域センター長 濱下武志

午後の部 | 「ポストコロナの国際経済・国際情勢」登壇者プロフィール

蟹瀬誠一

●国際ジャーナリスト/外交政策センター理事

石川県出身。上智大学新聞学科卒。米国AP通信社記者、TIME誌特派員を経てTBS「報道特集」キャスターとして日本のテレビ報道界に転身。明治大学国際日本学部部長を務めた。現在は経済番組「賢者の選択」キャスター、(社)価値創造フォーラム理事など。



渡部恒雄

●公益財団法人菅川平和財団 安全保障研究グループ 上席研究員

1963年生。東北大学歯学部卒。1995年ニューヨーク大学(NY)で政治学修士課程修了。同年CSIS(戦略国際問題研究所)に入所、上級研究員等を歴任。三井物産戦略研究所、東京財団政策研究所を経て17年より現職。近著に「グローバル時代のアジアの国際協力」(共著、芦書房)。



小針進

●静岡県立大学 国際関係学部教授/現代韓国朝鮮研究センター長

1963年千葉県生まれ。東京外語大朝鮮語学科卒業、韓国・西江大公共政策大学院修士課程修了、ソウル大行政大学院博士課程中退。特殊法人国際観光振興会(現・日本政府観光局)職員、外務省専門調査員(在大韓民国日本大使館政治部)などを経て、現職。要人へのオーラルヒストリーを通じた日韓間の「眺め合い」などを研究する。静岡県民歴23年。近著に「日中韓の相互イメージとポピュラー文化」(共著、明石書店)など。

柯隆

●静岡県立大学グローバル地域センター 特任教授/東京財団政策研究所主席研究員

中国南京市出身。1994年、名古屋大学修士(経済学)。中国経済・金融を専門とする日本の代表的エコノミスト。著書に、「中国「強国復権」の条件:「一帯一路」の大望とリスク」(第13回榎山純三賞受賞)、当センターでの研究成果をまとめた「日系自動車メーカーの中国戦略」(編著)ほか。



午前の部 | 「アジアのグローバル・ネットワークと地域間交流」登壇者プロフィール

濱下武志

●静岡県立大学グローバル地域センター長

静岡市出身。東京大学東洋文化研究所所長・教授、中山大学(中国)アジア太平洋学院院長などを歴任して、2017年から現職。中国社会経済史、東アジア経済史、東アジア華僑華人史などの歴史学を専攻。著書に、「近代中国の国際的契機—朝貢貿易システムと近代アジア」(アジア太平洋賞・大賞)、「華僑・華人と中華網」ほか。

鄭楽静

●中国寧波大学外国語学院日本語学科 講師

中国浙江省温州市出身。博士(人間環境学)。日本華僑華人史、温州移民史などの歴史学と社会学を専攻。著書に「日本温州籍華僑華人社会変遷研究」(科学出版社、2015年)、「温州人在日本—温籍華僑華人口述歴史」(浙江大学出版社、2017年)。

四方田雅史

●静岡文化芸術大学文化政策学部 教授

早稲田大学経済学研究科博士後期課程満期退学、博士(経済学)。日本学術振興会特別研究員、早稲田大学政治経済学術院助教などをを経て現職。専門は経済史、産業史。著作には「日中比較産業史 取引慣行と制度に見る戦前期中日経済の特質」(春風社、2016年)など。

奈倉京子

●静岡県立大学国際関係学部 准教授

沼津市出身。博士(人類学)。現代中国における国家と個人の間の中間的領域の萌芽に問題関心をもち、社会で周縁化された人々のネットワークやコミュニティ形成の研究を行う。著書に「帰国華僑」(風響社、2012年)、「中国系新移民の新たな移動と経験」(明石書店、2018年)、「中華世界を読む」(東方書店、2020年)。

富沢壽勇

●静岡県立大学グローバル地域センター 副センター長/国際関係学部 特任教授

東京都出身。東京大学博士(学術)。専門は文化人類学・東南アジア地域研究。静岡県立大学副学長、国際関係学部部長等歴任。日本ハラルサイエンス学会会長。ハラル研究の第一人者で、最近ではハラル産業のグローバル展開について文化人類学の視座で調査研究している。著編書に「王権儀礼と国家」「グローバルセッションズ」「ハラルサイエンスの展望」ほか。

栗倉大輔

●静岡県立大学グローバル地域センター 特任助教/帝京大学経済学部講師

静岡市出身。中央大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。専攻は日本経済史、日本産業史、日本茶の国際商品としての機能に着目しつつ、近代日本の茶業史・茶貿易史を研究する傍ら、茶業関係の歴史資料の調査も精力的に行っている。著書に「日本茶の近代史」(蒼天社出版、2017年)。

(午前の部・午後の部共通) オンライン配信申込の御案内



申込期限

令和2年8月21日(金)

申込方法

下記URLまたはQRコードからウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法を御案内します。(ビデオ会議アプリ「Zoomウェビナー」を使用します)

https://www.global-center.jp/holding_guidance/20200826/

21世紀アジアのグローバル・ネットワーク構築と

(午後の部) 会場参加申込書

国際シンポジウム

静岡県の新たな役割

(8月26日)

下記の申込書に必要事項をご記入の上、8月21日(金)までにFAXまたは郵送にてお送りください。ホームページからお申し込みいただけます。なお、定員となり次第、締め切ります。

FAX・郵送先

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階 静岡県立大学グローバル地域センター
FAX: 054-245-5603 ●TEL: 054-245-5600 ●<https://www.global-center.jp>
 ●E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp



フリガナ 氏名		会社 団体名	
御住所	〒		
電話		F A X	
Eメール			
後日、午前の部のオンライン配信を		希望する	希望しない
今後、当センターからの講演会の案内を		希望する	希望しない

ご記入いただきました個人情報は静岡県立大学が開催する講演会等の御案内にのみ使用します。